

第 17 回 東日本大震災アーカイブワークショップ議事要旨

日 時：令和 5 年 12 月 22 日（金）13：30～15：00

場 所：Google Meet（Web 会議）

出席者：岩手県立図書館 佐藤 奈津子、木村 玲

宮城県図書館 松橋 祐輝

仙台市民図書館 渡邊 啓市、星 博之

福島県立図書館 佐野 有季子

岩手大学図書館 遠山 正宏

福島大学附属図書館 菅野 悟、門間 泰子、芦原 ひろみ、鈴木 舞香

国立国会図書館 相原 雅樹

防災科学技術研究所自然災害情報室 池田 千春

防災専門図書館（防災科学技術研究所客員研究員） 堀田 弥生

東北大学附属図書館 三角 太郎、菅原 透、落合 浩平、武田小百合（事務局）

配付資料：

資料1. 第17回東日本大震災アーカイブワークショップ参加者名簿

資料2. 第16回東日本大震災アーカイブワークショップ議事要旨

資料3. 各機関の活動報告書 ー震災記録の収集を中心にー

1. 開会

資料 1 に基づき出席者より自己紹介を行った。

2. 前回の議事要旨確認

資料 2 に基づき、前回第 16 回の議事要旨の確認について説明があった。

3. 各機関からの活動報告

資料 3 に基づき、前回からの変更点・今年度の活動・特記事項を中心に、各機関より報告および質疑等が行われた。以下各館の事項は口頭説明の要点記載につき、詳細は資料 3 を参照のこと。

（1）岩手県立図書館

- ・収集資料は昨年より図書 157 冊、雑誌 10 冊、その他（1 枚もの等）243 点、AV 資料 2 点増加。
- ・今年度から東日本大震災津波関連資料のデジタル化を開始。1 枚ものを中心に今年度は 4180 件。来年度も継続予定。

・視聴覚ブース及び書架をリニューアルし震災・防災の学び合いスペース「Iルーム」を開設。

【質疑】

- ・デジタル化資料の公開予定について
- ・Iルームの利用状況について

(2) 宮城県図書館

- ・収集資料は昨年度から 696 点増加。
- ・「東日本大震災アーカイブ宮城」：コンテンツ数は昨年度から 21,898 件増加。
- ・仙台防災未来フォーラム、全国公立高等学校 事務職員研究大会、図書館総合展にブースを出展。

【質疑】

- ・図書館総合展の来場者の反応について

(3) 仙台市民図書館

- ・震災関連資料の収集数は減少傾向にあるが、現在は過去に寄贈されて未整理であった小冊子や 1 枚ものなどの受け入れを進めている。
- ・震災関連資料の図書目録を作成し、震災コーナーに展示
- ・広報誌（市政だより）連載の「3. 1 1 震災文庫を読む」のコラムは 2023 年 11 月号で vol.67 を達成
- ・「仙台防災未来フォーラム 2023」に出展。電子図書館のデモンストレーションを中心に

(4) 福島県立図書館

- ・前年度から約 600 冊増加（複本含む。タイトル数としては 400 件増）
- ・「震災復興ライブラリー増加資料一覧」（令和 5 年 3 月 31 日現在 418 タイトル）を作成
- ・震災関係のレファレンスが定期的にある。汎用性の高い事例は可能な限りレファレンス協同データベースに登録している

(5) 岩手大学図書館

- ・収集資料は昨年度から図書 61 冊、雑誌 9 冊、1 枚ものなどその他資料 118 点と微増
- ・学内の地域防災研究センターの移設に伴い、震災アーカイブ（リポジトリ）登録済み資料のうち、同センターで保管していた資料は図書館内で保管することに決定

(6) 東北大学附属図書館

- ・収集資料は昨年度から図書 127 冊・雑誌 163 冊増加。市販資料の比重大。

- ・職場体験に訪れた中学生が注目した所蔵資料の中に震災関連資料があったことは興味深い

- ・震災ライブラリーオンライン版を含んだ「東北大学総合知デジタルアーカイブ」構築を進めている

(7) 福島大学附属図書館

- ・収集資料は昨年度から図書約 300 冊・雑誌 130 冊増加。

- ・令和 5 年度、校友会（本学関係者、卒業生、教職員 OB 等で組織される団体）に事業申請を行い、震災関連資料の購入費として 100 万円の予算配分を受けることが出来た。

- ・原発事故も收拾しておらず被災は続いている状況。福島大学としても今後も継続的に震災関連資料を収集・管理するための安定的な予算確保について検討してゆく。

【質疑等】

- ・校友会への予算申請について

(8) 国立国会図書館

- ・「ひなぎく」検索対象数は約 470 万件で、昨年度から微増

- ・ひなぎくホームページ「東日本大震災 被災地の記憶」の総資料数は 238 件に増。「ひなぎくを使ってみよう！」のページに「関東大震災 100 年特集」のコンテンツを追加。関東大震災に関する資料を探すのに役立つウェブサイトなどを紹介。

- ・4 年ぶりの開催となった「World BOSAI Forum 2023 2023/防災ダボス会議@仙台 2023」にてポスター展示（3 月 10 日～3 月 12 日 仙台国際センター）

- ・子ども霞が関見学デー（霞が関の府省が子どもたちに事業を案内するイベント）に参加。ひなぎくとして参加したのは令和元年以来。

【質疑】

- ・閉鎖するアーカイブの継承について

(9) 防災科学技術研究所自然災害情報室

- ・連携イベント 4 件（防災教育パネル展示 3 件+図書館総合展オンライン出展）。

- ・令和 3 年「10 万冊が語りかける東日本大震災」で制作したポスターが、令和 5 年 3 月 4 日開催の「仙台防災未来フォーラム 2023」仙台市民図書館のブースで活用された。

- ・災害資料アーカイブ機関連携メーリングリストは継続して 32 機関が参加。

(10) 防災専門図書館

- ・2023 年度企画展「関東大震災 100 年 ～備えよう！首都直下地震」を令和 6 年 9 月 30 日まで開催中。予備知識なく訪れる来館者にも理解しやすいよう、写真や地図を多用している。来館者向けと開催記録も兼ねて 3D-VR でアーカイブし、公開している。来場者の反応

等、東日本大震災関連の展示の参考ともなるかもしれない。

・イベント 4 件（ぼうさいこくたい 2023、横浜地方気象台、紀伊國屋本店ブックフェア、図書館総合展出展）

【全体を通しての質疑】

・未整理資料について

4. その他

・次回ワークショップの日程、情報共有等について

事務局より、本ワークショップの次回の日程について、2024 年 12 月頃に開催の見通しである旨説明があった。

あわせて、その他の随時の情報共有・相談等には、本ワークショップ参加機関のメーリングリストを適宜活用いただくようアナウンスがあった。

以上